

障がい者の福祉的就労と
日中活動サービスの支援のあり方について

～高い工賃を目指した支援～

Doやまびこにおける 工賃向上の取組み

社会福祉法人やまびこ会

Doやまびこ

管理者 藤田泰輝

やまびこ会の沿革

- 平成7年 高松やまびこ週例会発足
- 平成8年 小規模作業所D○やまびこ開所
- 平成17年 社会福祉法人田村やまびこ会設立認可
- 平成18年 社会福祉法人田村やまびこ会
通所授産施設D○やまびこ開所
グループホームそら開所
- 平成20年 新体系移行（就労移行・生活介護）
- 平成22年 就労継続支援B型事業開始
- 平成25年 社会福祉法人やまびこ会に改名
就労継続支援A型事業開始
就労移行支援事業廃止

社会福祉法人やまびこ会 Doやまびこ



田村事業所(法人本部)

- 就労継続支援 B型事業
- 生活介護事業



西ハゼ事業所

- 就労継続支援 A型事業



東ハゼ事業所

- グループホーム



鹿角事業所

- グループホーム
- ショートステイ
- 生活介護(出張所)

<やまびこの活動理念>

理念 — 地域で働き、地域で暮らす —

障がいの程度に関係なく、学校を卒業したら働くのが ふ・つ・う



人は働くことで、人に“誉められ”“役に立ち”
“必要”とされ、生きる喜びを感じることが
できます。働くということは所得補償だけで
なく、幸福感を得ることのできる重要な役割
だと私たちは考えています。



“住み慣れた地域の中で、当たり前で暮らしたい!”
誰もが感じることはないでしょうか。
地域生活は、たくさんの選択肢があります。
“お家で暮らしたい!” “一人暮らしがしたい!”
“シェアハウスが羨ましい!” “グループホームで
みんなと過ごしたい!” そんな想いが叶えられる
様、多様なサービスを考えています。

得られるものは、所得だけではなく
生き甲斐、尊厳、活力



長く生活レベルを維持する

< 就労継続支援 B 型概要 >

●利用人数 : 10名 (定員10名)

●障がい別 : 知的 7名 / 身体 2名 / 精神 1名

●年齢 : 19歳~20歳 1名 (男性0名、女性1名)
20歳~30歳 8名 (男性5名、女性3名)
30歳~40歳 1名 (男性1名、女性0名)

●障害程度区分 : なし-2名/ 1-0名/ 2-2名/ 3-3名/ 4-2名/ 5-1名

日 課

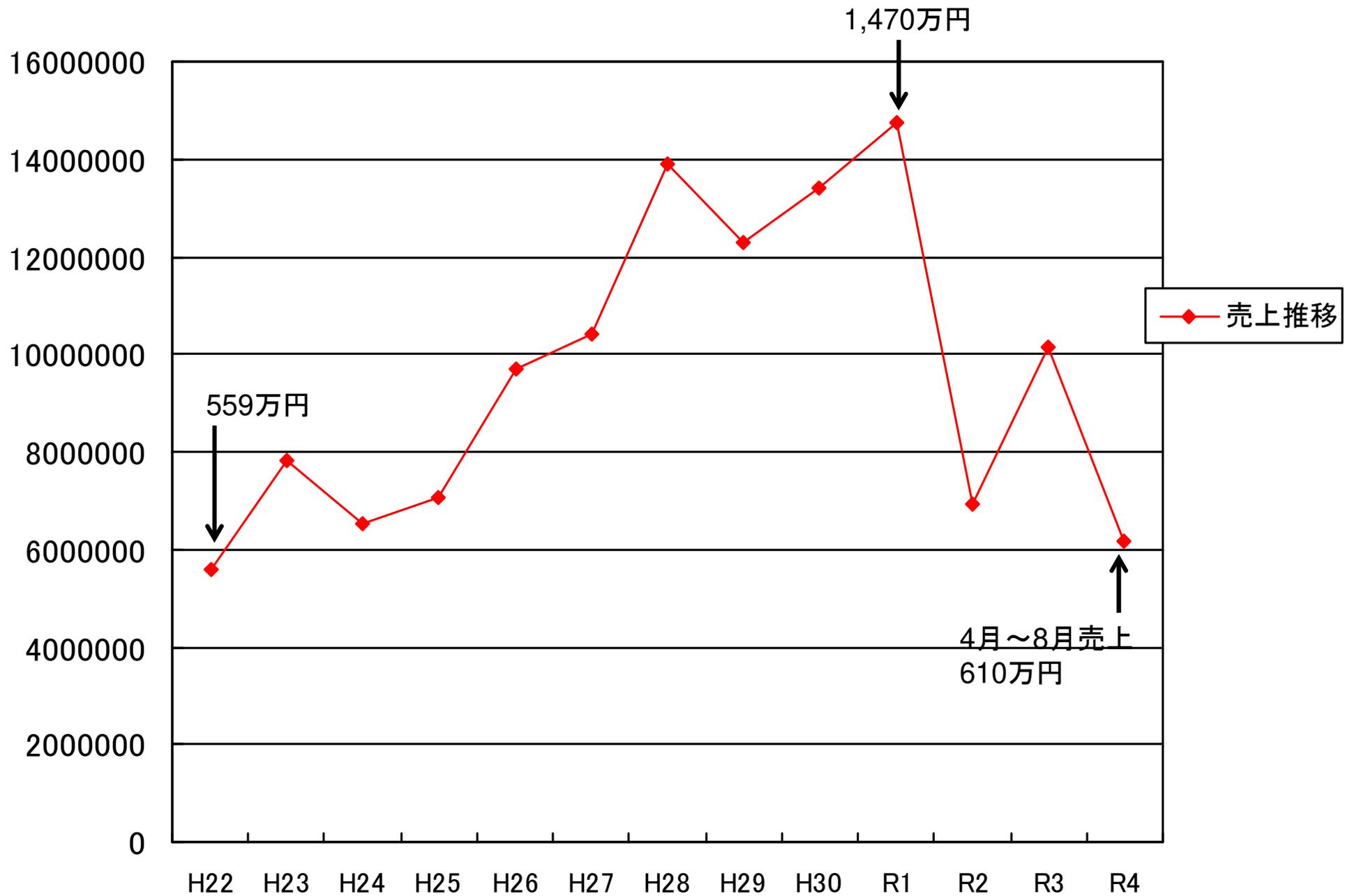
● 利用時間 : 9:00 ~ 16:00 (勤務 9:00 ~ 15:00)

● 作業項目 : 自主(菓子)製品 (揚げ菓子 / アイスクリーム /ゼリー)

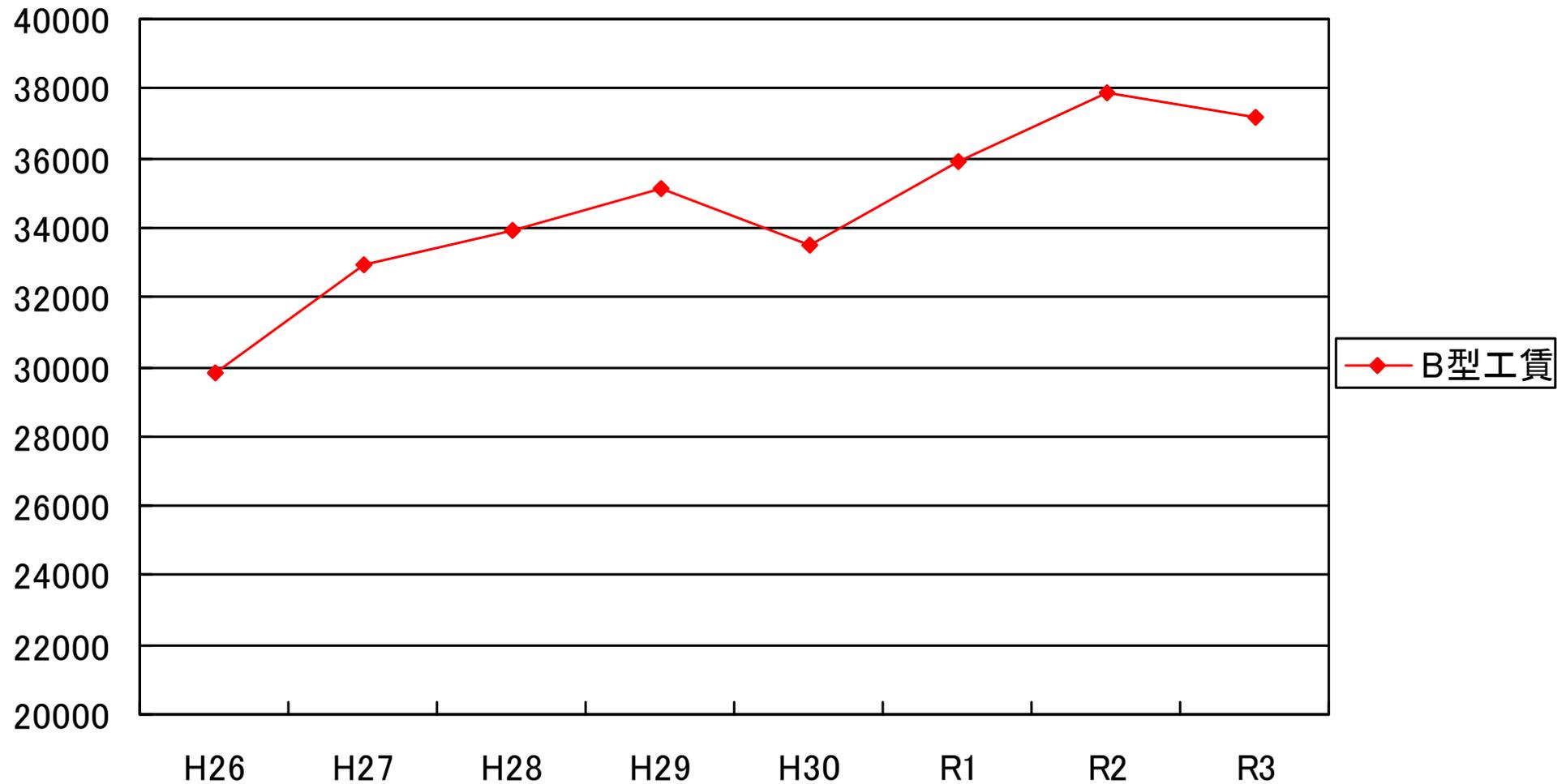
100%自主製品



● 売上の推移



利用者工賃の推移



令和3年度末

月額平均工賃 : 約 3万7000円

工賃向上に向けた活動事例

1、営業活動と企業との連携



2、利用者支援 (環境整備・作業訓練)



3、数字への意識

平成30年度半期月別売上表

品名	売上金額								
100	60	3	35	30	15				
140	60	3	35	30	25				
140	35	3	25	20	25				
160	60	3	20	20	35				
160	60	3	25	20	40				
150	65	3	35	25	40				
150	65	3	25	20	35				
180	80	3	30	20	45				
150	65	3	55	25	45				
145	50	3	50	25	40				
145	50	3	35	20	35				
145	60	3	20	20	35				
1,814	0	730	0	38	0	390	0	405	0

平成4年度

	目標	実績	達成率	改善率
A事業	23,800,000		80%/97%	80%/97%
B事業	11,400,000		0.0%	80%/97%
生産介機	2,600,000		0.0%	80%/97%
合計	47,800,000		0.0%	80%/97%

1、営業活動と企業との連携

●株式会社とのコラボ(OEM)商品による連携

共通の取引先で名刺交換。その後、情報交換を重ねる。



平成22年 “せとうち芸術祭”開催に合わせ、
アイスクリームの商品化の相談を受ける。

- ・マルシン・・・商品提案 ・パッケージ作成 ・ 販売先開拓
- ・やまびこ・・・サンプル作成 ・ 商品製造

『直島塩アイス』を販売

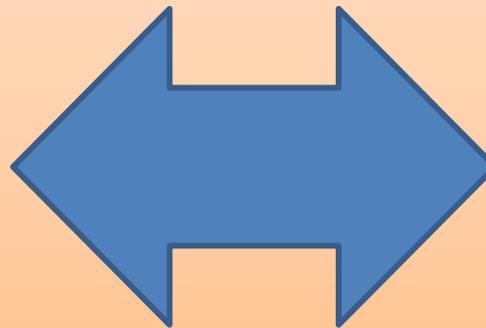


●WinWinの関係の構築

企業

多くの卸売り先からの提案

- ・ロスが軽減できる
- ・売り先の細かな要望に応えられる
- ・社会貢献



施設

支援・製造・営業を同時に

- ・仕事の確保
- ・営業活動の軽減
- ・収益UPによる工賃向上
- ・利用者のスキルUP

この年 直島塩アイスだけで 4000個 販売

現在では...



● 企業コラボが続いている理由 << 推測！！ >>

在庫管理

品質管理

設備投資

営業感覚

専門知識

注文対応

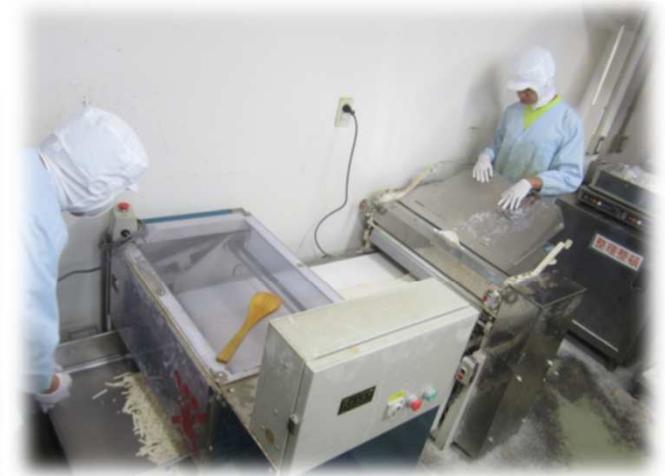
スピード感

クレーム対応

etc...

信 頼

2、利用者主体の現場作り



目標：職員がいなくても仕事ができる現場作り

- 環境改善（見える化）
- 機械化と安全管理
- 自助具の作成
- 作業評価

環境改善

●目で見えるように環境改善(見える化①)

物の置き場を見える化



作業準備を見える化



作業工程を見える化



- ・ 場所を明確にすることで、分かりやすく
- ・ 作業工程をできる限り一定化する
- ・ マニュアルの作成(全てグラム表示など)

●作業の細分化、道具の改善①



① 計量



② 袋詰め



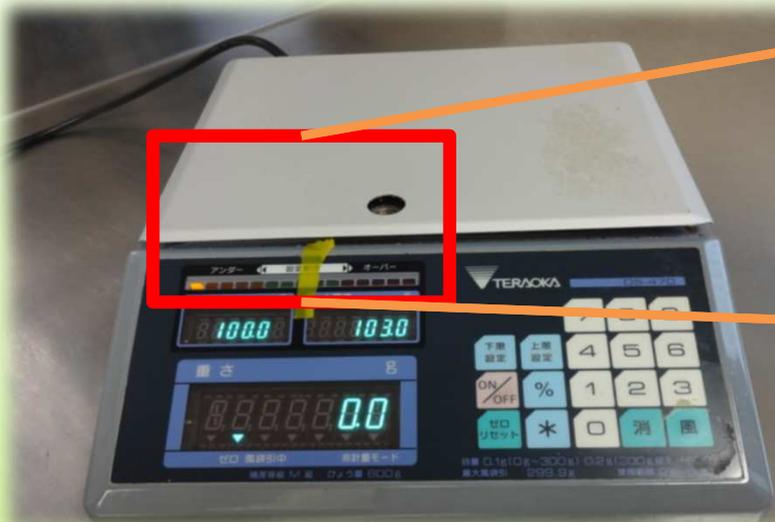
③ 乾燥材入れ～シーラー

- ・毎回、同じ工程で作業を行う(ルーティン)事で、作業の安定化を図る
- ・それぞれの得意分野を中心に作業を担当してもらう事で、作業ペースを上げる

機械化と安全管理

●目で見えるように環境改善(見える化①)

《計量の改善》



- ・下限値—上限値間の重さになると音が鳴る
 - ・色により、多い少ないが分かるようになっている
- ⇒数字に弱い利用者さんでも作業に参加できる

《シーラーの改善》



- ・自動で流れることで、スピードアップに繋がる
- ・シールが強く、商品の品質管理に繋がる

機械化と安全管理

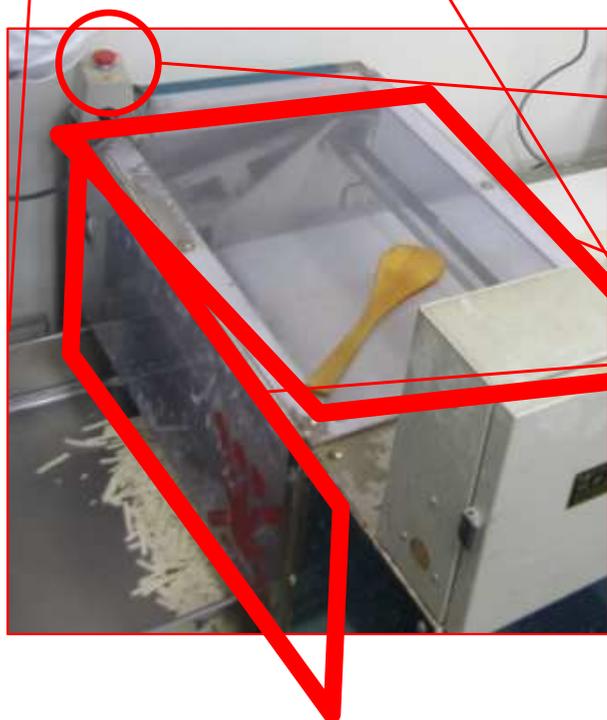
●量産と参加率アップ。安全装置の設置。



スライド

安全カバー

緊急停止ボタン



緊急停止ボタン

安全カバー



プレス機



揚げ機・味付け機

● 自助具の作成

《ジョウゴの使用》



お菓子を袋に入れるために使用
口の大きなものを使う

《シール貼り》



色々な袋のサイズ・シールタイプ
ごとに用意している。

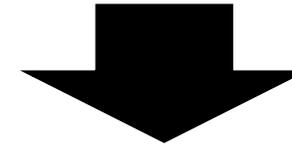
【改善を続けた結果】

揚げ菓子部門では、90%以上の作業を利用者さんだけで行う。

作業評価表

作業評価項目			
※健常者を満点とした場合で評価する			
			評価点数
作業能力	1 正確性	作業は正確に行えるか	5点
	2 作業速度	仕事は早くできるか	5点
	3 集中力	就労時間内、集中して作業が行えるか	5点
	4 持続力	就労時間内、持続して作業が行えるか	5点
	5 俊敏性	移動、行動は早い	5点
	6 判断力	決められた手順を、指示無くこなせるか	5点
	7 理解力	作業内容を理解できているか	5点
	8 報告・連絡・相談	報告・連絡・相談が出来るか	5点
	9 成果	期待通りの結果が残されているか	5点
作業姿勢	10 責任感	仕事に熱心に、積極的に取り組んでいるか	5点
	11 協調性	職員や他の利用者と協力して仕事できているか	5点
	12 整理整頓	準備・片付けを指示なく行えているか	5点
	13 衛生管理	身だしなみ、作業環境を清潔にしているか	5点
	14 規律	職場内の決め事を守っているか	5点
社会性	15 挨拶礼儀	誰にでも挨拶ができ、言葉遣いは正しいか	5点
	16 意思伝達	自分の意思を的確に伝えられるか	5点
	17 メンタルヘルス	急激な心の動揺を抑えられるか	5点
体力	18 体力	仕事に必要な体力はあるか	5点
その他	19 加算調整		10点
			計100点
加算調整項目	1 移動販売車・外部販売		4点
	2 出勤率		3点
	3 特記事項	加算調整の欄に理由を記入	3点
			計10点

できることが増えたら、給料が上がる



・次への意欲!!

・余暇へ繋がる

3、数字への意識

売上ではなく、利益を考える。

○ 年間 及び 月 目標の設定

- ・毎月のミーティングで、目標達成状況の確認

○ 原価の意識

- ・原価を把握する
- ・無駄な在庫を抱えない
- ・ロスの削減(原材料・水光熱費)

○ 企業との価格交渉

- ・利益の出る金額設定になっているか？
(価格交渉・販売方法の交渉など)
- ・軽作業など企業の言い値になってないか？
(最低賃金等の考え方／とある事業所とのやり取りの件)

その他、法人内活動紹介

生活介護での取り組み

○ 働く生活介護の取り組み

作業項目



自助具



○ 身体ケア

機能維持の取り組み



経営品質改善活動事例発表会

毎年年度初めに改善目標を設定。改善を行った活動について年度末に報告。

目的：施設支援の向上



行政・福祉・企業・教育・保護者 など
様々な立場の方に、評価員として出席いただき、講評してもらう。

次年度以降の施設運営に取り入れる

ご清聴ありがとうございました。